

KIITO: 徹底討論！「人口減少時代の豊かな暮らしを神戸でデザインする」を開催いたします

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。その一環として「人口減少化」をテーマとしたシンポジウムを神戸市と共催で開催いたします。

神戸市においても、全国と同様に人口減少、高齢化といった課題が進展しつつあります。神戸市は「50年先も心地よく健やかに住み続けられるまち」をめざして、「神戸市都市空間向上計画」の策定に向けた取り組みを進めています。

これからの神戸、50年先の神戸の課題や、目指す姿を共有し、議論を深める機会として、公開シンポジウム「人口減少時代の豊かな暮らしを神戸でデザインする」を、神戸市とデザイン・クリエイティブセンター神戸との共催にて開催します。

日時 | 2018年12月2日 (日) 13:30-16:30 (12:45 開場)

会場 | 神戸大学医学部会館シスメックスホール (神戸市中央区楠町7-5-1)

出演 | 野澤千絵 (東洋大学理工学部建築学科教授)

嘉名光市 (大阪市立大学大学院工学研究科教授)

小泉寛明 (神戸R不動産ディレクター／有限会社Lusie 代表)

合田三奈子 (NPO 法人ママの働き方応援隊理事長／合同会社r3 代表)

本木時久 (日本生活協同組合連合会生活用品事業本部本部長)

永田宏和 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 副センター長)

定員 | 300人 (要申込、先着順) | 参加費 | 無料 | 応募資格 | 神戸にゆかりのある方

主催 | 神戸市、デザイン・クリエイティブセンター神戸

開催内容 |

・有識者による基調講演

東洋大学理工学部教授 野澤千絵氏

大阪市立大学大学院教授 嘉名光市氏

・パネルディスカッション【テーマ】みんなでこれからの神戸を考えよう！

神戸R不動産 小泉寛明氏

NPO 法人ママの働き方応援隊 合田三奈子氏

日本生活協同組合連合会 本木時久氏

申込み | 2018年10月30日 (火) 14時から ウェブサイト (<https://kobecity-official-event.jp/form/136>) もしくは往復はがき (氏名、住所、メールアドレス、電話番号、年齢、性別を記入の上、〒650-8570 神戸市住宅都市局計画部都市計画課宛) にて申込み受付開始

取材について | 取材 (カメラ、ビデオ等による撮影、録音等) については、事前に住宅都市局計画部都市計画課までご連絡ください。

当日の取材に際しては、自社腕章を着用してください。

●出演者プロフィール

<基調講演者>

野澤千絵（東洋大学理工学部建築学科教授、国土交通省都市計画基本問題小委員会委員）

講演テーマ「人口減少でまちはどうなる？」

人口減少と超高齢化が同時に進む日本では、生活利便サービス、インフラや公共交通、ライフスタイルの変化、災害リスクなど、多様な分野の問題が複雑に絡みながら発生し始めています。そのような人口減少・超高齢化が引き起こす課題や、将来世代にも暮らしやすい街になるように私たちが今から取り組むべき課題について、都市計画の観点から紹介します。

嘉名光市（大阪市立大学大学院工学研究科教授、神戸市都市空間向上計画策定に向けた有識者会議座長）

講演テーマ「これからのまちづくりはどうなる？」

人口減少の過程に入ったわが国では、中心市街地の空洞化や都市のスポンジ化など様々な課題があります。20世紀は「つくる」ことに追われた時代でしたが、21世紀は「つかい、育てる」時代といわれており、まちづくりの考え方そのものも変化しています。これからの人口減少時代に対応した神戸のまちづくりについて展望してみたいと思います。

<パネリスト>

小泉寛明（神戸R不動産ディレクター/有限会社 Lusie 代表、一般社団法人 KOBEFARMERSMARKET 代表理事）

東遊園地で定期開催しているファーマーズマーケットを主導。農漁業者と都会の消費者をつなぎ、「農」を都市にインストールするプロジェクトを進めています。また不動産ビジネスを通じて、灘の阪急高架下ではクラフトマンのコミュニティーを、北野ではノマドワーカーのコミュニティーをつくる活動を進めるなど、それぞれの地域の多様な特徴・特性を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

合田三奈子（NPO 法人ママの働き方応援隊理事長、合同会社 r3 代表）

子育て中の女性が、仕事を通して成長できる「場」を創り出しています。仕事では子連れがデメリットと考えられがちなか、4人の子どもを育てながら「子育て中がメリットになる働き方」を追求しています。これまで子育て・仕事・親の介護と、日々直面する課題を、地域の人が繋がる場をつくる事で解決してきました。働くママが自身の関わる地域課題に目を向け、解消することで、出産後も女性が働き続けやすい社会を目指しています。

本木時久（日本生活協同組合連合会生活用品事業本部本部長（元生活協同組合コープこうべ執行役員））

コープこうべでは、安心して使える商品の開発、店舗や宅配といった食にまつわる事業を中心に、夕食サポート、子育て支援、高齢者福祉など、組合員のくらしの課題解決につながる事業の他、地域づくりやコミュニティづくりといった活動に取り組んでいます。これからの人口減少時代に向け、組合員・職員一人ひとりが意思を持って、この地域で助け合い社会を実現していけるよう取り組んでいます。

<コーディネーター>

永田宏和（株式会社 iop 都市文化創造研究所代表取締役、NPO 法人プラス・アーツ理事長、デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)副センター長）

アートやデザインを導入した新しいカタチの防災教育プログラムを多数開発し、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン！」など国内外で数多く展開しています。デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、「+クリエイティブ」をコンセプトに、神戸市、地元企業と協働しながら様々なジャンルの社会課題解決に取り組んでいます。